



WAVE YOU

2018年度版

朋友

第34号



東京電機大学中学・高等学校同窓会

目次

母校発展のため、同窓会・卒業生とともに応援を！

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長 川村 登志一 1

人生 100 年時代における学校の役割とは？

名誉会長（東京電機大学中学校・高等学校 学校長）大久保 靖 1

クラブ活動後援会とは

クラブ活動後援会 会長 平野 桂介 2

《特集》

私の学生時代

東京電機大学 理事長 加藤 康太郎 3

《学園だより》 クラブ紹介 「吹奏楽部」 5

4D Lab 「あるある解決！アイデア商品の開発」 5

中学校 6

高等学校 7

《コラム》

情報ってなあに

東京電機大学システムデザイン工学部デザイン工学科教授 土肥 紳一 8

《先生方の近況》

御嶽山の噴火に直面して

東京電機大学中学校・高等学校 元教諭 高村 広昭 12

「人間らしく生きる」を糧道に

東京電機大学中学校・高等学校 元バスケット部顧問 大湯 幸夫 14

《平成 29・30 年度 同窓会活動報告》

事業報告および事業計画 15

平成 29 年度 決算報告・財産目録・会計監査報告 16

平成 30 年度 予算 17

平成 30・31 年度 役員名簿 18

平成 30 年度 同窓会年間予定表 19

同窓会活動スナップ 20

「朋友」編集者 串橋幹事を偲んで 21

定着してきた「だんわ室」 24

第 60 回 中学・高等学校同窓会総会・懇親会の御案内 24

広報委員会より 25

クラス会促進委員会より 26

平成 28 年～30 年までの卒業生数・担任・クラス委員一覧 27

• 学園・時事と同窓会の歩み 28

• 東京電機大学中学・高等学校同窓会会則 35

母校発展のため、同窓会・卒業生とともに応援を！

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長 川村 登志一



卒業生の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に多大なご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。

始めに皆様に訃報のご報告をさせていただきます。平成30年後半に、広報副委員長「申橋幸保さん」、総務副委員長の「野口隆さん」、幹事「武藤正二さん」

が逝去されました。3人の方々は、中高同窓会活動を盛り上げて頑張ってきましたが、志半ばでご逝去されました。3人の幹事のご意思は残された役員、幹事が引き継ぎ、中高同窓会活動を盛り上げていこうと頑張っています。

ここに謹んでお悔やみを申し上げます。

さて、2019年度は東京電機大学中学・高等学校同窓会は60周年を迎えます。

渡辺会長から同窓会を引き継ぎ会長として2年が経過しました。幹事と先生方とのコミュニケーションをより一層取るために、同窓会活動の拠点を小金井キャンパス中心に考え、同窓会定期総会、武蔵野祭「だんわ室」参加等、また幹事会開催では、幹事の皆さんが参加しやすいように土曜日に開催するなどをして少しずつ改革をして参り

ました。

平成4年に母校が小金井の地に移り26年が過ぎ、小金井キャンパスを巣立った卒業生たちは、会社などでお忙しい時期と思いますが、少しずつ母校へ目を向け、たまには、クラス会・OB/OG会、同好会等を開催して懐かしい仲間や先生達と思い出話に花を咲かせてください。中学・高等学校同窓会は、いつでも卒業生たちの応援団です。

また、平成31年1月には、同窓会が支援して20歳を迎える同窓生に、「二十歳の祝合同クラス会」を開催できる運びとなりました。

現在、高校卒業生の進学する方々は、東京電機大学より他大学へ進学される方々が多数になっています。これからは、他大進学の卒業生の方々に同窓会幹事になって頂き、これからの同窓会の活性にご尽力頂きたいと思っています。

最後に、同窓会誌「朋友」を創刊当時より校正、編集を担当された申橋幸保さんが逝去されました。今回の「朋友34号」冊子を発行することを楽しみにしていましたが、心残りだったと思います。申橋幹事の思いを引き継ぎ「朋友34号」を発行することができました。

人生100年時代における学校の役割とは？

名誉会長（東京電機大学中学校・高等学校 学校長） 大久保 靖



同窓生のみなさまには、いつも母校の教育活動にご支援ご協力をいただきましてまことにありがとうございます。

最近、「人生100年時代」というフレーズを耳にすることが多くなりました。いくら世界に冠たる長寿大国日本でも、それはちょっと言い過ぎではないか

と思っておりましたが、ロンドン・ビジネススクールのリンダ・グラットン教授によれば、2007年生まれの子どもの半数は107歳まで生きると予測されるとか（『ライフ・シフト』より）。もしそれが事実ならば、今年12歳になる小学6年生の大多数は22世紀のネコ型ロボット「ドラえもん」と同時代を生きることになります。

グラットン教授は、人生100年時代の生き方は、従来の「教育→仕事→引退」という単線型ではなく、「教育→

仕事（→教育）→仕事→引退」と複線型のライフサイクル（グラットンがマルチステージライフと呼んでいます）を通じて、できるだけ長く働くことがあたりまえになると言います。

そのためには、画一的な生き方にとらわれず、生涯変身し続ける覚悟も必要です。「教育」で言えば、知識や技能を常に最新のものにアップデートするつもりで、生涯にわたって学び続けることが不可欠となるでしょう。新しいスキルを身につけるため、社会に出てからも一度学校で学び直すことが普通となる時代がやってきます。学校教育の目標・目的も、ある一時点における完結された知識体系を子供たちに伝授することではなく、生涯にわたって学び続けるための方法を伝授することに置き換わっていくでしょう。

同窓生のみなさんに学び直しの機会を提供することも、これからの学校の大切な役割になるのでは、と思うこの頃です。

クラブ活動後援会とは

クラブ活動後援会 会長 平野 桂介



クラブ活動後援会は、昭和54年に後援会として発足しました。

当時の小石川校舎には、グラウンドがありませんでしたので、東京電機大学グラウンド（現・小金井キャンパス）や他の施設を借りて体育祭やクラブ活動を行っておりました。

ご存知の通り、クラブ活動は毎日行われます。当時の小石川校舎から小金井グラウンドまでの交通費も思いの外かかります。そして、私学ですので学費も公立の学校よりかかるので保護者の負担も大変でした。

そこで、卒業生や保護者の皆さんで基金を作り後援会が設立されました。

その頃は、今ほどの不景気ではありませんでしたので沢山のご寄付を賜り、保護者や有志からの年会費で十分運営ができておりました。

ただ、平成20年のリーマンショック以降の不景気により保護者からの年会費収入も減少、その後発足したサポート募金との競合により著しく激減してしまいました。

そんな時に収入の増加を図るため前会長（現・川村同窓会長）が立て直しの一環として保護者だけでなく他の方々にもご寄付をお願いするために同窓生をメンバーと

する広報委員会を新設しました。

校舎も小金井に移転しグラウンドも整備されておりますが、広い敷地が必要なクラブ等への交通費・運搬費、また中学放送部がNHKのコンテストで全国大会へ出場するなど、各クラブ・同好会も以前に増して活動し補助額も増加の一途。

近年では、川村前会長の功績によりサポート募金からもクラブ活動後援会への寄付が可能となりました。しかし未だ十分な補助をする活動費が集まっておりません。そこで、現役中高生のクラブ活動がより活発に行われますよう、皆さまからご理解を賜り、ご寄付の力添えをお願い申し上げる次第です。

さて、サポート募金からご寄付頂きます場合ですが、使途番号【24】小金井キャンパス課外活動とご指定下さい。また、【課外活動で指定のクラブ名があれば、ご記入下さい。】欄は記入されませんようにお願いします。

記入されますと、指定のクラブの寄付となってしまう活動資金が各クラブ・同好会に対し平等に分配することが出来なくなってしまいます。この点は十分お気を付けてくださいますよう、お願い申し上げます。



私の学生時代

学校法人東京電機大学 理事長 加藤 康太郎

■親子三代

私の父は電機学校を卒業し、通信関係の軍属として満州にわたり、帰国して戦後にアンテナ製作を行う加藤電気工業所を創業しました。私は長男として父の強い意向で電機学園高等学校（現：東京電機大学高等学校）、そして東京電機大学の電気通信工学科（現：情報通信工学科）で学び、現在学園の理事長、会社では会長を務めています。さらに私の長男も、やはり電高そして電大で建設工学科を学び会社では社長を務めています。

このように私の親子三代はそろって電大で学び、加藤電気工業所で「アンテナづくり」を家業とした稀な家系で、過去を遡るとアンテナづくりが天職と誇れるようになりました。また、もし親子三代が電大で学ばなかったら、父の創業はなく、私の会社継承もなく、長男も別の道を歩んだに違いないでしょう。私が学園理事長を務めることになったのも天命と覚えてくるのです。

■中学時代まで

このようにお話しすると、私は当初から裕福な家庭で予め引かれたレールを計画通り、順風満帆に歩んできたように思われると思いますが、実際は決してそうではありませんでした。

満州では豊かな小学校時代を送りましたが、終戦後の厳しい時期には給食費が払えず、先生に空の給食袋をだして「駄菓子屋さんで饅頭を買って食べてしまった」とウソをついたこともありました。

中学校は開成中学校を受験しましたが、あまり勉強しなかったため失敗。近くの聖学院中学校に進学しました。当時、私は体型もスリムで敏捷、運動に自信もあり、野球が大好きで学校のクラブでなく地元の少年野球チームに入り、結構活躍しました。3年生になると勉強にも身が入り、担任の先生からK大学付属高校の受験を薦められました。私はラグビーをやりたい気持ちもあり、憧れの大学でもあったので母と相談し受験。見事合格クラスの皆が祝福してくれました。

ところが、何も聞いていなかった父は烈火のごとく怒



加藤理事長

りました。父にとって私が跡継ぎなのは自明のことで、事業も軌道に乗り始めた時期でもあったのです。父は無を言わず、母校である電機学園高等学校の電気通信課程に私を入学させました。

■電高で山登り、必死に大学受験

まさに今でいう不本意入学ですが、当時は文句を言える時代ではありませんでした。進学後は、学校から帰ると仕事というか課題がおいてあり、最初は職人さんに教えてもらい見よう見まねで旋盤・ドリル、機械加工や溶接もこなし、次第に図面や設計製図も引けるようになり、電気工事士の資格も取りました。一方、知人が登山をしていた関係で山登りに夢中になりました。有名だった東京緑峯山岳会の会員になり、はじめの頃は丹沢山系の塔ノ岳の沢登りが中心で、日帰りで登山しました。四季折々に周囲の新緑や花が変化する風光は今でも脳裏に焼きついています。

それでも高校の成績は電気通信課程で2、3番を維持していたため、自分では天狗になっていました。当時は電高生も電大に入学するには受験しなければならなかったため、3年生になる直前の春休みに予備校を覗いて、自分の学力の低さを痛感、大きな壁に直面しました。予備校の先生の話が全然わからなかったのです。これはまずいと研数学館と正則英語学校に通い、歯を食いしばって猛勉強。その甲斐あって無事に電大の電気通信工学科に入学できました。当時大学は神田錦町にあり、高大7年間、自宅の川口から御茶ノ水までニコライ堂を見ながら通学しました。

■大学時代は遊びから勉強へ

大学では実験だけは出席しましたが、他は出席をとらないため、遊び惚けてしまいました。私は家業を継ぐ運命と悟っていたので、趣味の山登りでは北アルプスの雪山とロッククライミングに夢中になり、また高校時代からのジャズバンドではお金も稼げるほどの腕になりました。さらに競馬、マージャンなど何でもやり、勉強時間はほとんどなしという有り様でした。

ところが、大学3年生後半のとき父が過労で倒れ、会社の仕事を手伝うあい間に大学に通うようになりました。納期の関係で徹夜して学校に通ったこともありまし



高校卒業時の
アルバムから



学友とともに雲取山に登る
(大学1年のとき)



北穂高岳・ロッククライミング

たが次第に、NHK 等からの受注も増えて人を雇えるようになり、また父親の病気の回復で、毎日大学に通えるようになり必死に勉強、やっとの思いで卒業しました。

■大学卒業後も挫折寸前に

4年生で卒業研究のため東芝のマツダ研究所に半年間通って論文をまとめた縁で、東芝関連会社に入社し3年ほどお世話になりました。東芝では放射線関係の仕事をしましたが、一番苦勞したのは新入社員の研修時でした。私の専門は電気通信でしたが放射線分野に配属されてしまったのです。しかもこの分野(12名)の大半は、一流の国立大学で物理を勉強した連中で学力差は歴然でした。しかも分野が違う事もあり、劣等感に押しつぶされそうになりました。入社1ヶ月で逃げ出したくなり、挫折寸前に。しかし母校電大の名誉、自分の意地と名誉のため、開き直ってやり抜く事を決意。夜も寝ないでがむしゃらに勉強。入社2年後には仲間と仕事ができるようになり、ついには社長賞を頂く機会にも恵まれ、その後、

加藤電気工業所に入社しました。

■贈る言葉

皆さんは歴史と伝統のある東京電機大学中学校・高等学校で学びました。これからの生活で最も重要なのは「あなたが主人公」ということです。これまでの成績は変えられない。大切なのは「これから何をどう学ぶか」です。そしてそれを決めるのは「あなた自身」で、「あなたの努力」次第なのです。勉強はあなたを変身させます。変身する主役は貴方、自分自身です。そして時間軸は常に「今」です。自分に必要と思うものを自分で選んでいくと、結果的に自分を深く知り、行動が変わり、人生が大きく転換し充実するはずです。また、どんなに遊びをくり返しても、どんな修羅場を経験しても、学ぶ姿勢をもてば成長の助けになります。

皆さんが常に勉強し、学び続けることで皆さん自身が、また皆さんの人生がどんどん充実していくことをお祈りしています。



東京電機大学入学式の写真(2列右側から5番目)

クラブ紹介

吹奏楽部

東京電機大学中学校・高等学校 吹奏楽部 高校1年 吉澤 昂佑

吹奏楽部は現在、中学生27人、高校生16人で活動しています。今年入部した中学一年生も日々の練習に励み、真剣に部活動に取り組んでいます。今年の活動で、春の高校体育祭ではパフォーマンス部門1位を、夏に行われた東京都高等学校吹奏楽コンクールでは銀賞を、それぞれいただくことが出来ました。また、今年も校内アンサンブル発表会が行われ、中学一年生みのグループの発表もありました。夏のコンクールで銀賞をいただくことができたのは先輩方の良い指導があったからだと思います。来年にはその先輩方が引退してしまいますが、より質の高い演奏がコンクールや文化祭で発表できるように練習に励んでいきたいと存じます。また、部活の代替わりもあったので、より良い部活になることを期待しています。これからは先輩やOB、OGからの指導を待つだけではなく、技術をあげる練習を自分で調べて自分で行えるような、また、部員1人1人が意欲を持って

行動できるような活動をしていきたいと思います。

○定期演奏会 3月21日(祝) 13:00

小金井宮地楽器ホール

定期演奏会に向けて、10月上旬から部員一同練習に勤しんでおります。

ぜひ会場に足を運んでくださればと思います。



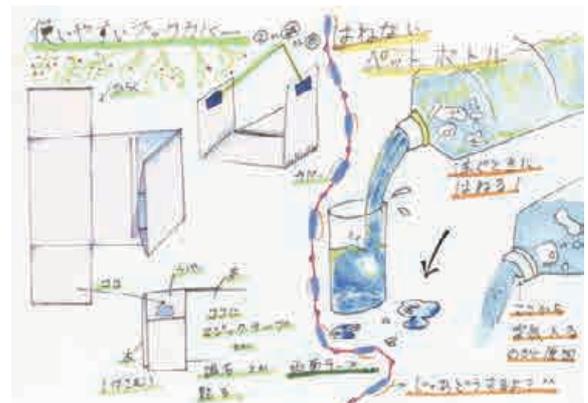
4D Lab 「あるある解決！アイデア商品の開発」

東京電機大学中学校・高等学校 教諭 光岡 慶

買い物をしていると、ときどき端がピンクに塗られたレシートをもらいます。今まで気にも止めていなかったどこかの誰かの小さな親切心。私の担当している「あるある解決！アイデア商品の開発」Labでは、このような小さな幸せを共有し、新たな便利グッズを考案しています。

目薬を両目に一度にさしたい！自分の部屋のカーテンをもっと気楽に取り替えたい！片手で開けられるおにぎりの包装がほしい！…中高生の創造力には驚かされます。昨年度は「テストの途中でシャーペンの芯が終わってしまい、カチカチしている時間がもったいない！」という声から、“残量がわかるシャー芯”を開発しました。既存の芯の終盤にマーキングを施し、替えどきが近づくとき色が変るといった簡単な仕組みです。ヒントは、ピンク帯レシート！今年度は、アイデアを“どう魅せるか”という点にも力を入れて活動しています。

3年目を迎えた教科・学年横断型総合学習4D-Lab。多くの失敗の中で生徒たちはそれぞれの得意分野を引き出し、貢献する姿勢を身につけているようです。私も担当教員として、校外発信の足掛けをつくれぬか模索中。このコラムを読んでくださっている方の中で、私たちの小さな幸せを共有してくださる方はいませんか？



学園だより (中学校)



対面式 (2018.4.9)
まだまだ、初々しい新入生！



中1 林間学校 (2018.7.23)
天気もよく登山は最高！



武蔵野祭 (2018.9.15)
中2の全体合唱。音がなくて残念！



武蔵野祭 (2018.9.15)
中3は毎年演劇に挑戦！ Musical?



体育祭 (2018.9.28)
中3ソーラン節のラスト！



体育祭 (2018.9.28)
全体写真。今年は上水公園！



英語合宿 (2018.10.12)
中2の人気行事。Speech できたかな？



芸術鑑賞会 (2018.11.14)
三遊亭兼太郎氏を中心に落語は大うけ！

学園だより (高等学校)



高3 テーブルマナー教室
これでどこへ出ても恥ずかしくない紳士淑女です



高1 スタートセミナー
入学して気持ちも新たに今後の成長を誓った3日間でした



体育祭
本気で取り組みました！



文化祭 TDU 4D-Labの発表
やってきたことは紙だけでは伝え切れませんが



文化祭 PTA バザー
開門前から行列ができる一大イベントです



文化祭 鉄道研究部
今や本校を代表する部活です



高2 修学旅行
長崎被爆体験者のお話を聞き心に重く響きました



高2 修学旅行
太宰府で日ごろの勉強を補強します

情報ってなあに

東京電機大学システムデザイン工学部デザイン工学科 教授 土肥 紳一

インターネットの普及により、メール、情報検索、動画の再生、買い物等が身近に行えるようになりました。このようなことができるのは、情報が正確に伝わる仕組みがあるからです。その本質を体験によって学べるようにしたものが、「情報ってなあに」です。これは、筆者が主に高等学校の出張講義で行っている内容で、4つの体験で構成しており、これまで60回近く実施しました。必要なものは、身近な文房具と筆記用具程度です。ぜひ、やってみてください。なお、「暗号解読」と「絵を送ろう」は、『コンピュータを使わない情報教育アンブレグドコンピュータサイエンス』で紹介されているものを、アレンジして紹介しています [1]。

なお、スナップ写真は2010年3月23日に、いんざい産学連携センター（千葉ニュータウン中央）で小学生向けに実施したときの様子です。

1. 伝言ゲーム

最初は伝言ゲームです。伝言が正しく伝わらないところが、これの面白いところです。事前に準備するものは、伝言を記載した紙です。封筒に入れて準備すると良いでしょう。複数のグループがある場合は、グループの数だけ封筒を準備します。その他、最後に伝言を聞いた人が、内容を筆記する紙を用意します。伝言は、同じ内容にしておくと、グループの特徴が出て興味をひきます。出張講義では、訪問先の高等学校名を入れ、図1の伝言を用意しています。みなさんが行う時は、短い2行程度の伝言を考えてください。

グループは、4～5名で実施すると良いでしょう。10名程度の大人数になると、破綻することが多いです。複数のグループを作れる場合は、人数に差を設けるのも興味深い結果になります。グループが構成できたら、グル

伝言内容

本日は、東京電機大学中学校・高等学校で「情報ってなあに」が開講されています。情報が持つ性質を理解し、ぜひ、興味を持ってください。

図1 伝言の例

ープを区別するために番号を付け、さらにグループ内で伝える順番を決めます。

準備ができたら始めましょう。各グループの最初の方に、伝言の入った封筒を渡し、読んでもらいます。読み終えた伝言は封筒にしまい、小声で2番目の方へ伝えます。以下同様に、2番目の方は3番目の方へ、3番目の方は4番目の方へと、最後の方まで伝えます。最後の方は、伝言を聞き終えた後、その内容を筆記します。

すべてのグループから、筆記した紙を回収します。通常は、プロジェクターを使って、元の伝言内容を紹介し、この瞬間、「聞いてないよー」「ぜんぜん違うじゃないか」といった声が、あちこちで巻き起こります。その内容を知っている人は、最初に伝言を見た人だけですから。続いて、グループ毎に、回収した伝言を読み上げます。この時、グループの番号と人数も伝えます。元の伝言との大きな違いに、爆笑が起こります。一般的に、人数が多くなると伝言内容が大きく変わることが想像されますが、どのような結果になるのかはお楽しみです。

伝言ゲームを振り返ります。最初の方は、伝言を目で受け取ります。つまり、視覚で伝言が伝達されます。2番目以降の方は、音を使って伝達しています。聴覚を使って、伝言が伝わったこととなります。もう少し細かく見ると、伝える人は声帯を振動させて声を発声し、空気の振動によって相手の耳に伝え、相手は音の違いを認識し、音から言葉を認識し、伝言内容を認識するといった、非常に複雑なことを瞬時に行っているのです。正確に伝わらないのは、その伝え方に問題があるためで、後の体験で理解できるでしょう。

情報は何なのかをまとめておきます。伝言を「情報」に置き換えて考えてみましょう。伝言を伝えることは情報の送信に、伝言を受け取ることは情報の受信になります。本来情報は、いくら伝えても、その価値は変わりません。情報とは、人にとって、一つの知識と捉えておいてください。

そもそも「なぜ、伝言ゲームができたのでしょうか」。



筆者 土肥 紳一



当たり前のように思えますが、ここには、重要なことが隠れています。それは、使用した言語です。伝言ゲームを始める前に、日本語で行うとは言っていません。もし、伝言内容がアラビア語で書かれていたらどうなるでしょうか。最初の人が目にした伝言は、2番目の人に伝えることすらできないでしょう。伝言が伝わるために必要なことは、伝えるための取り決めが必要なのです。これをプロトコル (protocol) と言います。つまりプロトコルが一致していないと、伝わりません。私たちが日常会話できるのは、プロトコル、すなわち言葉が日本語で一致しているからです。

世界中のコンピュータがインターネットで繋がる理由も同様です。TCP/IP (ティーシーピーアイピー) と言うプロトコルが存在するからです。

2. 数の表現

伝言ゲームで緊張がほぐれたところで、次は数の表現を体験します。事前に準備する物は、図2に示す5枚のカードです。大きさはA4程度が適切で、クリアファイルに入れておくと良いでしょう。少なくとも1セット準備します。筆者は本学の鉄腕アトム絵が付いたクリアファイルを使っています。余談ですが、鉄腕アトムは2019年2月末で契約が切れるため、使えなくなります。

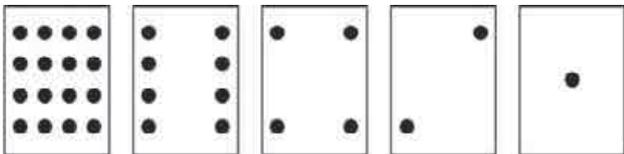


図2 カードの例

5枚のカードを見せる時は、以下の順に行います。最初に●が1つ付いたカードを見せます。続いて●が2つ付いたカードを見せます。「さて、次のカードは●がいくつでしょう」と尋ねます。この体験は小学生にも行ったことがあり、大半が3と答えます。高校生の場合は、3と答える人と、勘が良い人は4と答える人が出てきます。●が4つ付いたカードを見せると、小学生の場合は、「えー」といった反応が起こります。高校生の場合は、「な



るほど」といった反応です。

次は5名の方に前に出てもらい、黒板を背に、カードを1枚ずつ持って横一列に並んでもらいます。着席している方から見ると、図2の順番に並びます。各カードは、●が描かれた方が表に、反対側が裏になります。最初は、5枚のカードをすべて裏返してもらいます。この状態は、●がありませんの0であることを説明します。「これから、私が言う数と一致するように●の数を合わせてください」と伝え、0から順に数を読み上げます。

簡単そうに見えますが、やってみると結構、難しいです。特に、2と4を担当する方は、表を出せば良いのか、裏を出せば良いのか混乱します。一番忙しいのは、1のカードを担当する方です。数を読み上げる毎に、反転する必要があります。最も暇なのは、16を担当する方です。ここでのポイントは、表になっているカードを1に、裏は0に読み替えると、10進数を2進数で表現できていることです。図3は、2進数の10101を示しており、これは10進数の21になります。

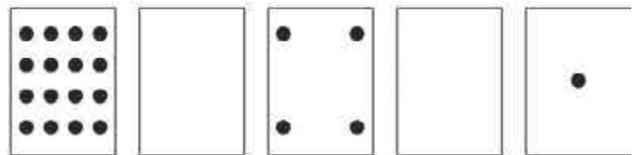


図3 カードの例

2進数の1桁のことをビットと呼び、まさにカード1枚が1ビットを表現しています。この例では原理を理解するために、カードを5枚だけ使いました。したがって、5ビットの2進数を扱ったことになり、0から31までの10進数を表現できることが分かります。

コンピュータでは、8ビット単位で扱い、これを1バイトと言います。

3. 暗号解読

次は暗号解読を体験してもらいます。唐突ですが、図4の暗号はわかりますか？

少し解説します。図2に示したカードが横1列に並んでいると考えてください。16 8 4 2 1の行は、10進数へ

暗号解読

16 8 4 2 1
 □☆□□□
 □□☆□☆
 □☆☆□□
 ☆□□□□

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z

図4 暗号の例

変換する場合に補助的に使うための表示です。暗号は次の行、□☆□□□から始まります。□はカードが裏であること、☆はカードが表であることを示しています。つまり2進数の01000を表現しており、10進数の8です。次に、数字とアルファベットの対応を確認します。8はアルファベットのhに対応しており、暗号の□☆□□□はhになります。続いて、□□☆□☆を考えてみましょう。これは2進数の00101を表現しており、10進数の5です。これに対応した文字はeです。以下同様に□☆☆□□は12になりl(エル)を、最後に☆☆□□□は16になりpです。以上の4文字を並べると、helpになります。

事前に準備するものは、図5に示すように、A4程度の大きさの紙に□□□□□を縦に並べて印刷したものを、人数分用意します。さらに縦横5cm程度の付箋紙を、上下に貼り付けます。付箋紙は2色準備し、例えば上は赤色、下は黄色などに統一しておくことと指示し易くなります。

図5の用紙を全員に配布します。最初に英単語を一つ、思い浮かべてもらい、上側の付箋紙に書いてもらいます。次に、英単語の先頭の文字に対応した数字を確認し、その数字になるように□□□□□の該当する部分に☆を記入します。以下同様に、残りの文字についても該当する位置に☆を付け、図4のように仕上げます。

できあがったら、単語を記載した上側の付箋紙をはがして、手元に置きます。下側の付箋紙が付いた状態で紙を、送ります。伝言ゲームの順番で送ると良いでしょう。この場合、最後の人は最初の人に送ります。

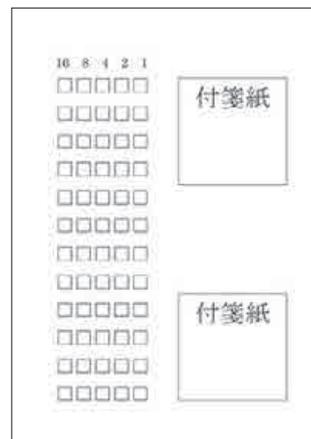


図5 暗号用の用紙

送られてきた紙を見ながら、暗号を解読し、下側の付箋紙に解読した単語を記載します。完了したら、下側の付箋紙を付けたまま、紙を戻します。

紙が戻ってきたら、先ほどはがしておいた上側の付箋紙を紙の上側に貼り、復元された下側の付箋紙の単語と一致していることを確認します。

大半の方は、正しく単語が復元されていることでしょう。しかし、☆の記載ミスや、解読時の読み違いで、正しく復元できないことが起こります。この場合は、どこに誤りがあったのかを確認します。

このようにアルファベットの1文字は数字に対応付けることによって、文字は数字で表現できるようになりました。さらに数字は、数の表現で体験した通り、2進数に変換できます。ここでは紙に記載された2進数を一気に送りましたが、音の有無に置き換えることができます。例えば、メトロノームと鐘を使って、01000を伝えることができます。0の時は鐘を鳴らさない、1の時に鐘を鳴らすといったルールを定めます。メトロノームに合わせて01000の左から順に鐘を鳴らせば、鐘の音が聞こえる範囲に伝えることができます。もちろん右から順に鳴らすこともでき、左右のどちらから鳴らすかを決めておけば良いことになります。鐘の代わりにシンバルや太鼓などに置き換えることもできます。これを解読するとpになります。音が聞こえたか聞こえないかと言った、単純な仕組みで伝えることができ、正確に伝わります。これが、伝言ゲームと大きく異なる点です。

このような伝送方式は、情報を1ビットずつ順に送ることからシリアル伝送方式と言います。インターネットに接続されたコンピュータ同士は、2進数になった情報を電気信号のオンとオフに置き換えて伝えています。

4. 絵を送ろう

最後に、絵を送ることを体験してみます。文字は、暗号解読の体験で、送れることがわかりました。絵を送るには、どのようにすれば良いでしょうか。絵の様子を見

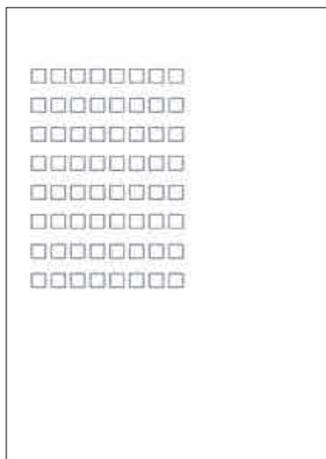


図6 絵を送ろうの用紙

た人が言葉に置き換えて、その言葉を伝えることはできません。しかし、言葉の情報から絵を忠実に再現することはできません。絵を見た人が「綺麗な山が描かれている」と言っても、綺麗さを正確に伝えられないからです。したがって、絵その物を送る必要があります。

事前に準備するものは、図6に示すようにA4程度の大きさの紙に、8×8の□を並べた紙を用意し、縦横5cm程度の付箋紙を貼り付けます。もう1枚、付箋紙が無い物を用意し絵を復元する時に使います。この2種類を人数分用意します。

画像は、小さな点の並びで表現することができます。ここでは、話を簡単にするために、点は、白(□)と黒(■)で表現します。連続する□と■の個数を、□から数えるルールを設けます。例えば□□□■□□□は3、2、3と表現できます。以下同様にルールを適用すると、図7

右側の数字に置き換えることができます。注意が必要なのは、■■■■■■■■■■です。□がありませんので、0、8になります。右側の数字を付箋紙に記載します。描いた絵は他の人から見えないように、伏せておきます。

それでは、各自、思い思いの絵を描いて、数値表現を行ってください。できあがったら、数字が書かれた付箋

数値表現

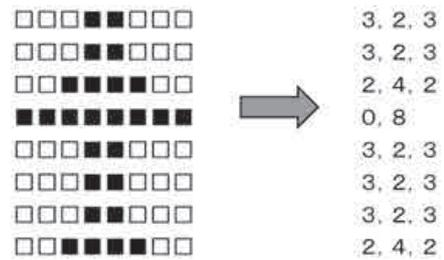


図7 数値表現

紙をはがして送ります。伝言ゲームの順番で付箋紙を送ると良いでしょう。この場合、最後の人は最初の人に送ります。

復元用に用意した紙を配布します。受け取った付箋紙に基づき、絵を復元します。すべて終わったら、復元した絵に付箋紙を付けて、用紙を戻します。復元された絵と付箋紙が戻ってきたら、元の絵と比較します。

「合っていましたか？」大半の方は、忠実に復元されているはずですが、ささいな誤りで、絵の一部が変わったりします。この場合は、どこで間違えたのかを確認します。うっかり□から数えるルールを誤ると、□と■が反転した絵になります。このように、絵は□と■の個数に着目すると、数字に置き換えることができます。既に体験した通り数字は、2進数で表現できますので、シリアル伝送方式で伝えることができます。

この原理は、東京電機大学の初代学長、丹羽保次郎先生が発明したファクシミリの原理に他なりません。ファクシミリを使うときに、その原理を思い出すと共に、丹羽先生の技術を使っていることを思い出してください。

以上、「情報ってなあに」で講演している内容を紹介しました。情報が伝わる原理や仕組みを体験していただけるとと思います。情報教育はコンピュータが無いとできないと思われがちですが、コンピュータが無くてもその原理は十分に理解できます。その他に豊富な例が、webサイトで紹介されていますので参考にしてください[2]。

本特集を切っ掛けに、「情報」に興味を持つ方が増えることを願っております。そして情報系の大学へ進学し、専門知識を身につけてください。

参考資料

- [1] 『コンピュータを使わない情報教育アンプラグドコンピュータサイエンス』、兼宗進 [監訳]、イーテキスト研究所、2007
- [2] 『コンピュータを使わない情報教育 Computer Science Unplugged』
<https://www.etext.jp/publish.html> (2018年11月10日閲覧)

先生方の近況

卒業生の皆様方から、現役を引退された先生方が、その後どうされているか近況を知りたいという要望が多く寄せられ、特集してみました。誌面の関係で今回2人の先生方に近況を語っていただきました。

御嶽山の噴火に直面して

東京電機大学中学校・高等学校 元教諭 高村 広 昭

1966年に採用されてから、社会科の教員として44年間務めさせていただきました。

ここでの生活で大きく印象に残った一つは、山との出会いでした。就職してすぐに持った部活がワングル部です。学生時代には尾瀬に行ったぐらいで、山登りとは無関係でした。体力もなく、生徒の行動についていくのが精一杯で、指導など出来る状況でなかったです。それでも、

何とか切りぬけることができました。

そして、若い教員にバトンを渡すことができ、山から遠ざかりました。その後、齋藤先生や中村先生に誘われて、定年間近の頃に山登りしました。顧問という責任ある立場から離れての山登りは、体力的にはきついものの、頂上に達した時の達成感は格別でした。

その中で、特に思い出の残る山の一つが、御



嶽山でした。頂上には神社がありました。(その時の写真をのせています。真中が私です。)

ところが、2014年9月27日の昼に、この御嶽山が噴火し、登山者58人が死去する戦後最悪の火山被害となりました。この状況をテレビで見っていたのですが、信じられない光景でした。この日は、噴火警戒レベルが1で、天気も良く多くの登山者が頂上で昼ご飯を食べていたのです。日本が火山国であることを肌で感じました。東日本大震災の時に「想定外」と言われましたが、この噴火はまさに「想定外」で自然の脅威を改めて感じさせられました。

他に印象として残ったことをあげると、最初に担任を持った時です。いきなり、3年生を持つことになり、あわてました。しかも、1クラス67人です。生徒のほう先輩で、指導などというのが、おこがましい状況でした。「めだかの学校」の「誰が生徒か先生か、みんなで元気に遊んでいる」という歌の感じでした。(2016年の合同クラス会で、その当時の生徒と会った時の写真です。)

それでも、67人は多すぎです。生徒にゆきとどいた教育とは、縁遠い状態でした。その後、1クラス76人というクラスも生まれました。これに対しては、私たち若い教員が中心となって立ち上がり、翌年に改善させました。1992年に学校が小石川から小金井に移転しましたが、教員たちは少しでもましな教育環境になるよう行動してきました。後に校長となる松岡先生が提案した「人間らしく生きる」という校訓は、全員の教員の意思を表現したものといえます。

本学に勤務している間は、私は「横浜都民」でした。横浜は、極端に言えば「寝る場所」でした。昼間、横浜市

民として生活する中で気がついたことは、公立の小学校と中学校で教員が教科書を選べなくなっていることです。どの教科書が子どもたちに適しているのか判断できるのは教員であるのに、教員の意見を聞くシステムがないのです。本学では、考えられない状態となっていました。

以前は、横浜市は教員の意見を聴いて教科書を選択していたのですが、それが大きく変化したことを知りました。特に2009年はひどかったです。他社の年表を盗作し、多くの誤りが指摘された歴史教科書が教育委員会により採択されたのです。私としては、この状況を座視できないので、微力ながら市民として行動することにしました。

それにしても、時の流れは早いです。気がついたら、喜寿を迎える年となりました。

私は第二次大戦中に生まれ、すぐに中国の東北部で生活していましたが、その頃については記憶がなく、親からの話で、戦争のひどさを感じてきました。最近の日本をみると、戦争とは無縁と言い切れなくなっています。2016年の憲法集会で、むのたけじさん(元朝日新聞記者)が言った「戦争を殺さなければ、現代の人類は死ぬ資格がない」ということを肝に銘じて生きていこうと思っています。



「人間らしく生きる」を糧道に

東京電機大学中学校・高等学校元教諭 元バスケット部顧問 大湯 幸夫

武蔵野祭などで学校を訪れた折り、東小金井駅の高架に伴う店舗、駅北ロータリーや通学路の変わり様に驚かされます。

平成20(2008)年に退職した私ですので、もう10年以上の歳月が過ぎて、来年の東京オリンピック時に、傘寿(さんじゅ)を迎えます。

私は東京オリンピックと縁があり、幻の東京オリンピックと言われる昭和15(1940)年に生まれ、昭和39(1964)年に東京電機大学に奉職しました。

当時高校は、大学や電機学校と同居し、神田錦町校舎でしたので、その時にオリンピックの聖火に声援を送ったり、代々木体育館でアメリカやブラジルのバスケットボールの観戦に出かけたりしました。翌年高校は小石川校舎に移り、少し広々した体育館で、バスケットボール部の顧問となり、部活動の基礎を築くことができました。さらに東小金井に校舎を移して、高校男子校から女子、さらに中学の男子、女子の部を創部しましたが、44年間、健康で良き職場や生徒、保護者の方々に恵まれ、幸せな教師生活でした。

母親の介護などがあり退職し、住まいの補修や管理をしながら、バスケットボール部創部経験から現在は、自分の体の為に地元神田でバスケットクラブを立ち上げました。

電高機械科で担任した卒業生と共に区立中学校体育館で主に、小学生や中学生、さらに高校生や大学生が参加し、電高のバスケットボール部のOBの方をコーチとして協力をいただいて、技術力の向上に努めています。

私は65年以上、バスケットボールで体を鍛えてきましたが、最近では遠くからゴールさせるのは厳しさを感じます。そこで高齢者の仲間と共に週2~3度、区の福祉施設や区立中学校体育館で卓球やバスケット(シュート練習程度)を毎週行っています。さらに最近では、体の平衡を保つ為に、高齢者向けの簡単な機械を用いたトレーニング等して、体調を整えています。

気分転換に千葉の房総鴨川に息子や孫と共に磯遊びや磯釣りに行くこともあります。山林でコクワガタやトンボの幼虫のヤゴを捕獲したり、シーワールドや牧場に行ったり、鴨川千枚田(都心から最も近い段々畑)で、電高の若い先生の「田んぼ」のお手伝いもしています。また、外国旅行は若い時にはパリやスイスアルプスが主流でしたが、最近ではベトナムのハノイやホーチミン、カンボジアのアンコールワットなど東南アジアへ、国内旅行は北陸や湯河原の温泉めぐりなどが主となりました。

本来の趣味である将棋や囲碁も行いますが、高齢になり相手が少なく、高齢者施設で相手を探しては指しています。武蔵野祭では将棋愛好会の中高生と楽しく指して戴きました。最近では将棋も囲碁も若い中高生が台頭し、人気回復基調ですね。将棋愛好会の卒業生で東京大学に現役合格で進学された方がおられるので、後に続いて欲しいと思います。最近では卒業生が私を肴にして、昭和46、50年、53、61年卒の機械科のクラス会に招いて戴き、昔話しに「はな」を咲かす機会を待っているこの頃です。この春にも高校が小石川校舎に移って最近担任したクラス会を開くとのことで、心待ちにしているところです。



平成 29・30 年度 同窓会活動報告

事業報告および事業計画

平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 事業報告
<p><< 総務委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 530 回～第 539 回幹事会開催 ・ 入学記念品として、キーホルダーを贈呈 ・ 新会員に同窓会活動についての説明 ・ 第 58 回同窓会総会の開催 於：H29 年 5 月 20 日（土） 東京小金井キャンパス（64 名出席） ・ 武蔵野祭『だんわ室』の開催・運営 ・ クラス委員・教職員・幹事等との懇談会開催 ・ 宿泊幹事会開催 ・ 卒業記念品として、証書挟みの贈呈 ・ 幹事会開催時、現中学校・高等学校の校歌練習 ・ オルセースクールミュージアム開催支援 <p><< 広報委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのメンテナンス ・ 同窓会誌「朋友」平成 29 年度版の発行 ・ 東京電機大学校友会「しおり」発行の協力 <p><< クラス会促進委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続 ・ クラス委員不在のクラスに選任の働きかけとクラス会開催を促す。 ・ 現在のクラス委員の再確認 ・ あらゆる場面を通じて、同窓会活性とクラス会開催の PR を行う。 	<p><< 総務委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 540 回～第 548 回幹事会の開催 ・ 入学記念品として、キーホルダーを贈呈 ・ 新会員に同窓会活動についての説明 ・ 第 59 回総会の開催：平成 30 年 5 月 19 日 ・ 武蔵野祭『だんわ室』の開設・運営 ・ クラス委員・教職員・幹事等との懇談会開催 ・ 卒業記念品：証書挟みの贈呈 ・ 幹事会開催時、現中学校・高等学校の校歌練習 ・ 「二十歳のお祝い」合同クラス会の開催（新規事業） <p><< 広報委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのメンテナンス ・ 同窓会誌「朋友」平成 30 年度版の発行 ・ 東京電機大学校友会「しおり」発行の協力 <p><< クラス会促進委員会関連 >></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス委員名簿の充実とメンテナンスの継続 ・ クラス委員不在のクラスに選任の働きかけとクラス会開催を促す。 ・ 現在のクラス委員の再確認 ・ あらゆる場面を通じて、同窓会活性、クラス会開催の PR を行う。

平成 29 年度 決 算 報 告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
会費	1,700,000	1,700,000	0	事業費	2,690,000	2,076,836	613,164
内 4,000 円× 254 名(高校)	1,016,000	1,016,000	0	内 総会費 クラス委員・教職員懇談会準備費 クラス会開催補助金 クラブ OB 会開催補助金 同窓会誌製作発行費 Web サーバホームページメンテナンス費 校外宿泊幹事会費 『だんわ室』開設運営費 総務委員会費 広報委員会費 クラス会促進委員会費 経理委員会費 運営委員会費	250,000	244,000	6,000
内 4,000 円× 171 名(中学)	684,000	684,000	0		100,000	0	100,000
校友会活動費	1,400,000	1,400,000	0		700,000	345,000	355,000
祝金, 貯金利子, 他	50,000	60,032	△ 10,032		100,000	60,000	40,000
					1,000,000	1,005,400	△ 5,400
					50,000	56,176	△ 6,176
					200,000	185,456	14,544
					100,000	47,870	52,130
					40,000	30,600	9,400
					70,000	41,476	28,524
					40,000	11,260	28,740
					20,000	14,630	5,370
					20,000	34,968	△ 14,968
					会議費	500,000	417,815
				内 通常幹事会	350,000	337,815	12,185
				内 武蔵野祭幹事会	150,000	80,000	70,000
				諸費	650,000	636,986	13,014
				内 慶弔費	120,000	116,200	3,800
				内 交通費	20,000	20,040	△ 40
				内 雑費	10,000	746	9,254
				内 オルセースクールミュージアム開催支援	500,000	500,000	0
				事務通信費(書類発送諸費)	200,000	181,426	18,574
				予備費	200,000	0	200,000
小 計	3,150,000	3,160,032	△ 10,032	小 計	4,240,000	3,313,063	926,937
前期繰入金	1,352,966	1,352,966	0	次期繰越金	262,966	1,199,935	△ 936,969
収入合計	4,502,966	4,512,998	△ 10,032	支出合計	4,502,966	4,512,998	△ 10,032

平成 29 年度 財 産 目 録

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	期首残高 (H29/4)	期末残高 (H30/3)
一般会計	1,352,966	1,199,935
内 現金	56,709	161,314
内 普通預金(三菱 UFJ 銀行 神田支店)	1,296,257	1,038,621
積立資金	2,069,378	2,069,382
内 通常郵便貯金(ゆうちょ銀行)	506,772	506,776
内 普通預金(三菱 UFJ 銀行 神田支店)	1,562,606	1,562,606
合 計	3,422,344	3,269,317

平成 29 年度 会計監査報告

上記決算について、会計監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成 30 年 4 月 11 日

見 崎 正 行
鈴 木 行 男



平成 30 年度 予 算

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
会費	1,600,000	事業費	3,370,000
内 訳		内 訳	
高校卒業者分 (245 名)	980,000	総会費	250,000
中学卒業者分 (155 名)	620,000	クラス委員教職員懇談会準備費	280,000
活動費	1,550,000	「二十歳のお祝い」合同クラス会*準備費	600,000
内 訳		クラス会開催補助金	750,000
校友会活動費	1,400,000	クラブ OB 会開催補助金	150,000
イベント協賛援助費	150,000	同窓会誌製作発行費	1,000,000
雑収入	200,000	Web サーバホームページメンテナンス費	50,000
内 訳		校外宿泊幹事会費	0
祝金、貯金利子、他	50,000	『だんわ室』開設運営費	100,000
「二十歳のお祝い」合同クラス会*会費	150,000	総務委員会費	40,000
		広報委員会費	50,000
		クラス会促進委員会費	40,000
		経理委員会費	20,000
		運営委員会費	20,000
		会則検討委員会費	20,000
		会議費	500,000
		内 訳	
		通常幹事会	350,000
		武蔵野祭幹事会	150,000
		諸費	150,000
		内 訳	
		慶弔費	120,000
		交通費	20,000
		雑費	10,000
		事務通信費 (書類発送諸費)	200,000
		特別会計 (記念事業積立金)	200,000
		予備費	100,000
小 計	3,350,000	小 計	4,520,000
前期繰入金 (H29 年度より)	1,199,935	次期繰越金 (H31 年度へ)	29,935
収入合計	4,549,935	支出合計	4,549,935

* 『二十歳のお祝い』合同クラス会』は、仮称です。

平成30・31年度 役員名簿

役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	役名	氏名	卒年	
名誉会長	大久保 靖		幹事 (平成29・30年度)	松下 祐輔	S34	幹事 (平成30・31年度)	南 吉洋	H21	
会長	川村 登志一	S40		大塚 忠克	S39		横山 眞一	S27	
副会長	大沼 一博	S43		印宮 登	S41		鈴木 整司	S35	
会 計	金子 英司	S45		加藤 克己	S40		川村 登志一	S40	
	伊奈 敬	S48		石崎 泰司	S37		白田 英夫	S41	
	平野 桂介	S57		渡辺 幸久	S39		林 猛	S41	
	平野 桂介	S57		向井 暉二	S32		幕田 俊勝	S41	
	鈴木 整司	S35		澤井 敏雄	S40		大沼 一博	S43	
	会計監査	見崎 正行		S35	岩崎 溥		S41	花鳥 秀年	S44
		鈴木 行男		S41	小室 泰之		S41	染矢 清和	S46
	総務委員会	川村 登志一		S40	矢部 好雄		S41	伊奈 敬	S48
		大沼 一博		S43	荒 教		S42	河野 吉伸	S53
		幕田 俊勝		S41	宇田 勇		S45	竹内 勇夫	S53
クラス会促進委員会	金子 英司	S45		金子 英司	S45		内山 章夫	S54	
	竹内 勇夫	S53		津田 浩二	S45		山田 富夫	S55	
広報委員会	伊奈 敬	S48		木村 孝由	S48		松本 健治	S56	
	串橋 幸保	S37		古城 仁	S50		渡邊 宣夫	H02	
	(H30.10 ご逝去)			相原 浩一	S53		坂田 淳	H03	
経理委員会	平野 桂介	S57		平野 桂介	S57		中里 昭宏	H05	
	鈴木 整司	S35		内藤 眞拓	H01		西澤 吉郎	H12	
顧問	宮崎 登			田邊 敏宏	H04		和田 純一	H12	
	高久 廣毅		西尾 禎一	H09	串橋 幸保	S37			
	宮本 治		木村 俊二	H12	(H30.10 ご逝去)				
	向芝 京太	S48	関 明里	H18	野口 隆	S48			
	加藤 康太郎	S29	佐藤 葉瑠妃	H19	(H30.11 ご逝去)				
	矢野 善治	S30	高橋 由里子	H19	武藤 正二	S34			
	柴山 茂男	S30	平木 希実	H19	(H30.11 ご逝去)				
	小長谷 登	S31	西浦 猛士	H01					

平成 30 年度 同窓会年間予定表

(作成日 2018 年 4 月)

毎年、同窓会では次年度の年間計画表を作って様々な活動をしておりますが、学校行事や校友会理事を担当していることから、学校・校友会とも事前に打ち合わせ、密接な連携し行事や活動が重ならないよう予定を立てています。

年月	同窓会	中学・高等学校	校友会・大学
H30 年 4 月	* 540 回：幹事会<15:00~17:00> 小金井キャンパス 平成 30 年度総会に向けての検討	* 中学・高校入学式	* 大学入学式 * 第 721 回：理事会
5 月	* 第 541 回：幹事会<13:00~15:30> 小金井キャンパス * 第 59 回：総会<16:00~17:30>		* 第 722 回：理事会
6 月	* 第 542 回：幹事会<15:00~16:30> 小金井キャンパス・125 室	* 高校体育祭 (1 案) * 高校体育祭 (2 案)	* 第 6 回：社員総会 * 第 724 回：理事会
7 月	* 第 543 回：幹事会<15:00~16:00> 小金井キャンパス (武蔵野祭だんわ室開催検討)	* 中学球技大会 * 高校球技大会	* 第 724 回：理事会
8 月	* 「だんわ室」開設準備打ち合わせ	夏季一斉休暇	
9 月	* 第 544 回：幹事会<15:00~16:00> 小金井キャンパス 「武蔵野祭見学・評価」 * クラス委員・教職員懇談会の内容検討	* 始業式 * 創立記念日 * 武蔵野祭	* 第 725 回：理事会
10 月	* 第 545 回：幹事会<15:00~16:00> 小金井キャンパス * クラス委員・教職員懇談会の内容検討		* 第 726 回：理事会
11 月	* 第 346 回：幹事会<14:00~14:30> 小金井キャンパス * クラス委員・教職員・幹事懇談会 <15:00~17:00> (懇親会 17:00~19:00)		* 第 717 回：理事会
12 月	* 第 547 回幹事会<18:00~19:00> 千住キャンパス * 懇親会<19:00~20:00>	* 中学球技大会 * 高校球技大会 * 終業式	* 第 728 回：理事会
H31 年 1 月	* 「二十歳の祝」合同クラス会<17:00~19:00> 千住キャンパス (100 周年ホール)	* 始業式 * 文化講演会(外会場)	
2 月	* 運営委員会<18:00~20:00> 千住キャンパス * H31 年役員、行事日程、予算、事業計画	* 高校合唱祭 * 中学競歩大会	* 第 729 回：理事会
3 月	* 第 548 会：幹事会<15:00~17:00> 小金井キャンパス 「H31 年度総会に向けての検討」	* 高校卒業式 * 中学卒業式 * 中学終了式 * 高校終業式	* 第 730 回：理事会 * 大学卒業式

☆校友会・中高学校行事の予定は、一部未決定の予定がありますので、注意してください。

同窓会活動スナップ

同窓会は、年間を通して様々な活動をしています、その一端をご覧ください。

「二十歳の祝」合同クラス会開催

今年、東京電機大学中学校・高等学校は80周年、東京電機大学中学・高等学校同窓会は60周年を迎えるのを機会に第1回「二十歳の祝」合同クラス会を同窓会主催、校友会協賛で、「二十歳の祝」合同クラス会が平成31年1月12日（土）電機大学千住キャンパスで開催されました。

当日は、東京電機大学中学校・高等学校卒業生150名が東京電機大学千住キャンパス（100周年ホール）へ集まり二十歳になったお祝いをしました。

母校を育ち、二十歳を迎えるのを節目に、同じ学舎で学んだ友人や先生方と懐かしい思い出話を話させ当時の先生方とに近況報告をしたたりして、楽しい一時をすごしました。

今年成人を迎えた同窓生達は、20年後に母校は、100周年、同窓会80周年を迎えます。中高同窓会は「二十歳の祝い」に集合した、卒業生たちが同窓会を盛り上げてくれることを期待して会を閉じました。



当時の先生とビンゴ大会



久しぶりに旧友との再会



(各クラス会開催の様子は同窓会 HP へアクセスしてください)

東京電機大学中学・高等学校同窓会

第536回 幹事会 及び 2017年度 クラス委員、教職員、幹事等懇談会

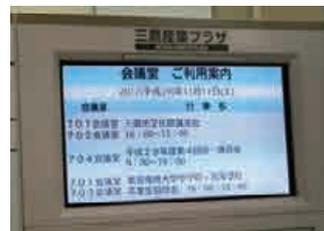
2017.11.11 於 三鷹産業プラザ 7階



会場となった三鷹産業プラザ



7階の受付



会場案内のモニター



懇談会の前に開かれた第536回幹事会



平成29年度懇談会開催



挨拶する川村会長

★懇談会の前に同窓会の活動報告をする各委員会の委員長



大沼総務委員長



伊奈広報委員長



金子クラス会促進委員長



平野経理委員長



挨拶する向芝校友会常務理事



挨拶する大久保学校長



懇談会の司会を担当する金子クラス会促進委員長と竹内幹事

★出席者の皆さんと貴重なご意見を述べられた同窓生の方々



出席者一同で記念撮影

2017 年度 学園主催 東京電機大学中学・高等学校 卒業生招待会

2017.11.11 於 三鷹産業フラザ 7階



司会により開会



渡辺学園理事挨拶



川村同窓会長挨拶

大久保校長の挨拶と
プロジェクターを
使った学園報告



★和やかに歓談し旧交を温める先生方と卒業生たち



平成30年度 第27回TDU「武蔵野祭」＜9月15日(土)・16日(日)＞ 定着してきた「だんわ室」

今年も、「だんわ室」を開催しました。「だんわ室」は、武蔵野祭に来校した卒業生が気軽に懐かしい仲間、先生たちと談笑ができる場所として平成23年に中高同窓会、クラブ活動後援会が主催になって開設されました。

7年目を迎え、卒業生の間でもかなり広まり大勢の同窓生や先生方でにぎわいました。

卒業生にとって、武蔵野祭(昔は電高祭)は中学校・高等学校を訪れる良い機会です。生徒主体の行事の中OB、OGが休憩したり、先生方や旧友と旧交を温める場として大いにやくに立っております。

また、日頃の同窓会か活動や、クラブ活動後援会



を卒業生や父兄に理解して頂く場としても貴重な場になっております。

「だんわ室」では、パネルで、同窓会、クラブ活動後援会、校友会を紹介したり、同窓会機関紙「朋友」や「校友会しおり」「クラブ活動後援会新聞」等の資料を配布しております。

もちろん、飲み物、お菓子を用意して、係の者が接待に当たります。

卒業後、なかなか母校を訪れる機会のない卒業生は、ぜひ武蔵野祭の機会に母校を訪れ「だんわ」室にお立ち寄りください。



第60回 中学・高等学校同窓会総会・懇親会の御案内

同窓生の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成31年度の総会・懇親会を下記の日程で開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

多数の同窓生のご参加をお持ち申し上げます。同級生、お仲間を誘ってぜひご参加ください。

東京電機大学中学・高等学校同窓会

会長 川村 登志一

記

- 日 時 2019年5月18日(土) 17:00～18:00 総会
- 総会会場 東京電機大学 東京小金井キャンパス 中学校・高等学校 小ホール
- 懇親会 第25回卒業生招待会になります(無料) 19:00～

※詳細は、中学・高等学校同窓会ホームページ <http://www.tdu-chukodoso.com/> をご覧ください。

広報委員会より

委員長：伊 奈 敬

同窓会活動をより多くの同窓生の皆様に知っていただき、同窓会・母校との関係を深めていただくよう、最新の情報を発信しております。知り合いの同窓生、クラス会仲間にも、ぜひホームページへのアクセスをお勧めください。学校、大学、校友会へもリンクしております。また、同窓会誌「朋友」も創刊号から最新号もPDFにして、ご覧頂けるようになっています。

●東京電機大学中学・高等学校同窓会ホームページアドレス <http://www.tdu-chukodoso.com>



●<クラス会・クラブOB/OG会・同好会開催に援助金が支給されます>
「クラス会」「クラブOB/OG会」「同好会」を開催すると、同窓会より年1回、15,000円が援助金として支給されます。また、担任の先生をお呼びすると更に5,000円が支給されます。ホームページからも申請できますので、ぜひアクセスしてみてください。

クラス会促進委員会より

委員長：金子 英司

同窓会の活性化は、まずクラス会・クラブOB/OG会・同好会の開催が活発化することからと位置づけ、開催に様々な便宜を図っております。ぜひ積極的に開催してください。

・「クラス会・クラブOB/OG会・同好会」開催に補助金1万5千円の支給
・クラス会名簿の提供（要望により）

●詳しいことは：校友会事務局まで 電話：03(5284)5140 FAX：03(5284)5187

平成30年度 クラス会・クラブOB/OG会・同好会開催状況

（開催期間＝平成30年4月～平成31年2月の期間に開催されているクラス会・クラブOB/OG会・同好会）

No.	開催日	学校別	卒業年	日制	学科名 組 クラス
1	30. 4. 14	高校	昭和32年	全日制	電気科 通信課程2組 クラス会
2	30. 4. 21	高校	昭和41年	全日制	電子科 1組 クラス会
3	30. 5. 19	高校	昭和35年	全日制	電気科 電力課程2組 クラス会
4	30. 5. 20	高校	昭和27年	定時制	電気科Bクラス電気科Cクラス電気機器製作課程合同クラス会
5	30. 6. 6	高校	昭和27年	全日制	電気科 電力課程3組・電気機器課程2組合同クラス会
6	30. 6. 16	高校	昭和49年	全日制	電子科 2組 クラス会
7	30. 6. 23	高校	昭和51年	全日制	電子科 2組 クラス会
8	30. 6. 30	高校	平成23年	全日制	中・高一貫特進 クラス会
9	30. 7. 30	高校	昭和46年	全日制	機械科 1組 クラス会
10	30. 8. 18	高校	昭和62年	全日制	機械科 クラス会
11	30. 8. 26	高校	昭和50年	全日制	機械科 1組 クラス会
12	30. 9. 15	高校	(クラブOB会)		鉄道研究部
13	30. 9. 16	高校	(クラブOB会)		地理歴史研究部
14	30. 10. 13	高校	昭和40年	全日制	普通科 1組 クラス会
15	30. 10. 20	高校	昭和41年	全日制	電子科 2組 クラス会
16	30. 10. 27	高校	昭和44年	定時制	電気科 1組・2組 電子科 合同クラス会
17	30. 10. 27	高校	昭和52年	全日制	機械科 クラス会
18	30. 11. 17	高校	昭和37年	定時制	Ⅱ部電力科程 クラス会
19	30. 11. 24	高校	平成3年	全日制	電気科 1組 クラス会
20	30. 11. 26	高校	昭和40年	全日制	電力課程・通信課程1・2組・計測課程・機器課程 合同クラス会
21	30. 12. 8	高校	昭和53年	全日制	普通科 5組 クラス会
22	30. 12. 8	高校	平成5年	全日制	情報科学科 1組 クラス会
23	30. 12. 14	高校	昭和41年	定時制	電気科 電力課程 1組 クラス会
24	30. 12. 15	高校	平成2年	全日制	電子科 1組 クラス会
25	30. 12. 15	高校	平成3年	全日制	電子科 1組 クラス会
26	31. 1. 12	高校	昭和53年	全日制	普通科 4組 クラス会
27	31. 1. 12	高校	平成29年	全日制	二十歳の祝い 合同クラス会
28	31. 1. 26	高校	昭和44年	全日制	電子科 1組 クラス会
29	31. 2. 2	高校	昭和39年	全日制	普通科 2組 クラス会

● 学校・年次別卒業生数一覧（平成28年卒～平成30年卒）

卒業年次	高等学校クラス										
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	合計
H28	9	29	41	40	36	39	39	10	31		274
H29	14	30	16	24	32	37	37	36	14	14	254
H30	13	22	19	20	34	30	29	40	32	6	245
合計 (累計)											773 (14,712)

卒業年次	中学校クラス						合計
	A	B	C	D	E	F	
H28	33	34	33	33	33		166
H29	33	34	36	34	34		171
H30	32	31	31	30	31		155
合計 (累計)							492 (2,441)

● 学校・卒業年次別担任・クラス委員一覧（平成28年卒～平成30年卒）

卒業年次		高等学校クラス									
		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10
H28	担任	疋田 康之	疋田 康之	星野 智	内山 章夫	内村理沙子	山本 将也	鈴木 純	影山 大	影山 大	
	クラス委員	柄木田あみ		塚田 直洋	川野 創万	根本 武	中村 建太	飯村 哲大	黒沼 慎司		
		藤田 美生		十市 拓海	栗原 祐二	平生 美和	西 祐希	了泉庵久己	玉村 彩		
H29	担任	幸治 茂弘	幸治 茂弘	池田 巧	池田 巧	土屋ちひろ	吉澤 稔	河野 吉伸	内山 真司	今井 威史	今井 威史
	クラス委員	河上 豊		若松 楓		小川 友洋	服部 貴大	伊藤 直貴	穴田 健朗	青木 祐賢	
		貝瀬 暁洋		石黒 未佳		下路 大生	田代 圭	井上 響	唐澤みなみ	柿崎 宏樹	
H30	担任	高橋 成弥	高橋 成弥	松永 航平	松永 航平	阿部 苗美	宮本 章吾	磯谷 和樹	前田 輝明	山住 直政	山住 直政
	クラス委員	向塾 航太		合田 里奈		三木 栞	川上 莉果	石川 暁	遠藤 隆太	奥野 天哉	
		小島 一将		芳賀 一喜		横山 晃也	金原 東吾	伊藤 芳貴	浦川 親大	古閑丸紗苗	
								福島 幸貴			

※中学校は平成24年度(H25.3卒)より、選出を中止。

★平成24年までのデータは、中・高同窓会ホームページをご覧ください。

学園・時事と同窓会の歩み

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1907(明治 40 年) 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広田・扇本先生によって高等学校の母校である電機学校創設 	
1923(大正 12 年) 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東大震災により木造校舎焼失 	
1924(大正 13 年)12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電機学校私設無線電信電話局 JMYM 認可される。NHK 東京放送局に先駆け送受信を行っていた。 	
1928(昭和 3 年)11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ NE 式写真電送成功 	
1936(昭和 11 年) 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (2.26 事件発生) 	
1939(昭和 14 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実業学校令による東京電機工業学校(高等学校の前身)を併設。昼間部・夜間部の課程を置く 	校章 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">昭和14年 </div> <div style="text-align: center;">昭和14年 </div> </div>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (第 2 時世界 (欧州) 大戦勃発) 	
1941(昭和 16 年)12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (太平洋戦争勃発) 	
1944(昭和 19 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名を電機第一工業学校と改称、別に電機第二工業学校を設置 	校章 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">昭和19年 </div> <div style="text-align: center;"></div> </div>
1945(昭和 20 年) 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (広島・長崎に原爆投下、戦争終結) 	
1947(昭和 22 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一、第二工業学校に併設中学校を設置 	
1948(昭和 23 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校改革により電機第一、同第二工業学校が合体して、電機学園高等学校となる。普通科新設 ・ 電機第一・二工業学校及び併設中学校を廃止 	
1949(昭和 24 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電検認定制度が変更され、本校が第一次試験免除校に認定 	
1952(昭和 27 年) 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名を東京電機大学高等学校と改称 ・ 文部省産業教育研究校に認定 	校章 <div style="text-align: center;">昭和24年 </div>
1956(昭和 31 年) 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立 50 周年記念式典を東京体育館にて挙行 	
1957(昭和 32 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ (一万円札発行) 	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部省産業教育指定校として、研究発表会を挙行 	
12 月		
1958(昭和 33 年)10 月		
1959(昭和 34 年) 1 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校同窓会設立の援助を校友会・および母校に願い出る。
2 月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 母校より同窓会設立準備金として 76,700 円下賜される。
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹羽保次郎学長、文化勲章受章 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立発起人会を開催
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文京区後楽に高校校舎建設計画決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創立総会を本館 5 階講堂で開催。校友会から高校同窓会設立を承認される。

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1960(昭和 35 年)11 月	<ul style="list-style-type: none"> • 高等学校の教育課程改訂に伴い機械科、電子科、電気科と改訂する 	<ul style="list-style-type: none"> • 勤務地区別同窓会名簿を発行する。 • 初めて校友会経由で入会金が同窓会に入る。 • 総会でレリーフ基金募金開始を決定、募金活動を開始する。
1962(昭和 37 年) 3 月		
1963(昭和 38 年) 3 月		
1964(昭和 39 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 山梨県八ヶ岳山麓に清里寮竣工 • (オリンピック東京大会開催) 	<ul style="list-style-type: none"> • 千代田地区同窓会、中央地区同窓会発足
6 月		
10 月		
11 月		<ul style="list-style-type: none"> • 小石川校舎で初の総会開催 • 第 1 回の全卒業者名簿の発行に協力 • 勤務地区別同窓会名簿を改訂発行 • レリーフ基金をもとに「若者の像」を製作 
1965(昭和 40 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> • 文京区後楽に高等学校校舎ならびに体育館竣工、新校舎で授業開始。 	
6 月		
1966(昭和 41 年) 4 月		<ul style="list-style-type: none"> • 総会を兼ねて、湯島会館にて同窓会 30 周年記念、歴代校長を囲む会を開催 • 第 1 回クラス委員名簿（住所録付）発行 • 本年度より同窓会の新しい事業として、電機大学へ進学した新会員を対象とした、英語、数学の実力向上のため会員講習会を開催。 • 第 2 回の全卒業者名簿の発行に協力
1968(昭和 43 年)		
1969(昭和 44 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 工業計測廃止 	
1970(昭和 45 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • (日本万国博覧会開幕) 	
1973(昭和 48 年) 5 月		<ul style="list-style-type: none"> • 本年度より同窓会の新しい事業として、電機大学へ進学した新会員を対象とした、英語、数学の実力向上のため会員講習会を開催。
1974(昭和 49 年) 4 月		<ul style="list-style-type: none"> • 本年度の総会で 53・54 年度の同窓会の事業として、創立 40 周年記念事業を推進することを決議 • 同窓会創立 20 周年記念と総会を「グランドパレス」にて挙行。 • 高等学校創立 40 周年記念式典と記念事業に協力 • 総会后第一工業、第二工業の卒業生を招待、小石川体育館で懇親会開催。 • 第 3 回全卒業生名簿発刊に協力
7 月		
1975(昭和 50 年) 7 月		
1977(昭和 52 年) 6 月	<ul style="list-style-type: none"> • 大学理工学部開設と学園創立 70 周年記念式典を鳩山校舎にて挙行。 	
1978(昭和 53 年) 6 月		
1979(昭和 54 年) 6 月	<ul style="list-style-type: none"> • 高等学校創立 40 周年記念式典を「グランドパレス」にて挙行。 • 東京私立中学・高等学校協会第四支部の支部長校となる（任期 1 年） 	
1982(昭和 57 年) 6 月		
11 月	<ul style="list-style-type: none"> • 学園創立 75 周年記念式典を「東京プリンスホテル」にて挙行 	
1982(昭和 57 年)12 月	<ul style="list-style-type: none"> • 小石川校舎増築工事起工式 	

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1983(昭和 58 年) 6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 総会后、池谷元校長より「絵についての思い出」講演、懇親会会場にも展示。
8 月	<ul style="list-style-type: none"> • 小石川校舎 3 号館竣工式 	
1984(昭和 59 年) 6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 総会后清水元校長「小石川移転の思い出」を講演、懇親会場に佐藤吉弥先生の絵を展示。
7 月	<ul style="list-style-type: none"> • 機械科の募集、昭和 60 年より募集停止。 	<ul style="list-style-type: none"> • 同窓会 25 周年記念事業委員会で同窓会小冊子の発行を目的に編集小委員会を発足
10 月	<ul style="list-style-type: none"> • 機械科を電子機械科に改編 	
1985(昭和 60 年) 2 月	<ul style="list-style-type: none"> • (科学万博 (つくば' 85) 開幕) 	<ul style="list-style-type: none"> • 「エレクトロニクス先端産業と今後の動向」について S31 卒石川明氏、小石川体育館にて講演
6 月		<ul style="list-style-type: none"> • “朋友” 25 周年特別号を発行 • “朋友” を同窓会会報として継続発行することとなり、創刊号発行
10 月		<ul style="list-style-type: none"> • 電高祭で「優秀賞」の表彰
1986(昭和 61 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> • (伊豆大島、三原山 206 年ぶり大噴火) 	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> • 第 1 回卒業生招待会 (S17-S30 迄) を開催、母校から 240 名出席 • 第 2 回卒業生招待会を後楽園会館で開催 (S31-S40 年卒) 	
1987(昭和 62 年)	<ul style="list-style-type: none"> • (世界最長、青函トンネル開業) 	
1988(昭和 63 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 第 3 回卒業生招待会を小石川体育館で開催 (S41-S46 年卒) • アイオワ大学工学部と推薦入学に関する協定書調印 	
1989(平成元年) 5 月	<ul style="list-style-type: none"> • ドイツ・ベルリンの壁崩壊 	
11 月	<ul style="list-style-type: none"> • 高等学校創立 50 周年、第 4 回卒業生招待会 (全卒業生) 日中友好会館で開催 • 工業科を電子電気科、情報科学科に改編 • 小金井校舎地鎮祭実施 	
1990(平成 2 年) 4 月		<ul style="list-style-type: none"> • 同窓会設立 30 周年記念講演を卒業生、矢追純一氏 (元日本テレビディレクター) 「宇宙人は実在する!？」を講演
9 月		
1991(平成 3 年) 1 月	<ul style="list-style-type: none"> • (湾岸戦争勃発、ソ連邦消滅宣言) • 小金井校舎建設募金開始、目標金額 5 億円、期間 H3.11 ~ H5.12.31 	
1992(平成 4 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 小金井キャンパスに高等学校舎竣工 	
4 月	<ul style="list-style-type: none"> • 文京区小石川校舎から小金井校舎に移転、新校舎にて授業開始 	
6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 小金井校舎で初めて総会を開催
9 月	<ul style="list-style-type: none"> • 電校祭から TDU 武蔵野祭に改称 	

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
1992(平成 4 年)10月	<ul style="list-style-type: none"> 電気科、電子科、電子機械科を廃止 電機学校閉校 	
1994(平成 6 年)11月		同窓会機関紙“朋友”をタブロイド版の新聞形式で編集送付決定
12月	<ul style="list-style-type: none"> 東京電機大学中学校設置文部省に申請 	
1995(平成 7 年) 7月	<ul style="list-style-type: none"> 東京電機大学中学校入学式 	<ul style="list-style-type: none"> 同窓会設立 35 周年記念講演として、元巨人軍打撃コーチ中畑清氏講演
1996(平成 8 年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> 東京電機大学中学校開設披露式挙行 	
5月		
6月		<ul style="list-style-type: none"> 第 10 回卒業生招待会開催（高校小ホール） 第 3 回全卒業生名簿の発行に協力 新聞形式の“朋友”を従来の冊子形式とし、中畑清氏の講演を掲載
7月		
11月		
1997(平成 9 年) 7月	<ul style="list-style-type: none"> 文部省、大学へ「飛び入学」を可能とする省令改正を公布、即日施行 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 学園創立 90 周年記念式典を「国際フォーラム」にて挙行、日本人初の宇宙飛行士「秋山氏」が同会場にて記念講演 	<ul style="list-style-type: none"> 中学・高等学校同窓会会則を改訂
1998(平成 10 年) 6月		<ul style="list-style-type: none"> 第 1 回三同窓会（電機学校・中高校・大学）の会長、副会長合同懇親会を上野「風月堂」にて開催
8月	<ul style="list-style-type: none"> 中学校・高等学校男女共学となる 	
1999(平成 11 年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の工業に関する学科（電子電気科情報科学科）生徒募集停止 	<ul style="list-style-type: none"> 同窓会設立 40 周年記念総会を高校会議室で開催後、記念の祝賀会を吉祥寺第一ホテルにて挙行
6月	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校創立 60 周年記念式典を高校小ホールで開催、体育館で東京電機大学学長小谷誠氏「超電導の世界」を講演後、祝賀会を吉祥寺第一ホテルにて挙行 	
1999(平成 11 年) 8月		<ul style="list-style-type: none"> 第 2 回三同窓会の会長、副会長合同懇親会を上野「風月堂」で開催
2000(平成 12 年) 6月		<ul style="list-style-type: none"> 荻原会長から小長谷会長にバトンタッチ 役員人事専門委員会発足
12月		<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回三同窓会（電機学校・中高校・大学）会長・副会長合同懇親会、神楽坂「鳥茶屋」にて開催 第 4 回三同窓会（電機学校・中高校・大学）会長・副会長合同懇親会開催

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
2001(平成 13 年) 1 月		
4 月	<ul style="list-style-type: none"> • 高等学校の工業に関する学科（電子電気科情報学科）を廃止 	
7 月	<ul style="list-style-type: none"> • 日本テレビ第 25 回鳥人間コンテスト出場 	
9 月	<ul style="list-style-type: none"> • 同時多発テロ、アメリカ「貿易センタービル」崩壊 	<ul style="list-style-type: none"> • 初の女性同窓会員誕生
2002(平成 14 年) 3 月	大学学長に当麻嘉弘氏就任	<ul style="list-style-type: none"> • 総会にて会則改訂により副会長 3 名体制となる、また下記の委員会が発足
4 月		<ol style="list-style-type: none"> 1. 朋友・しおり委員会 2. クラス会促進委員会 3. 業務 IT 委員会
11 月	<ul style="list-style-type: none"> • 大学同窓会創立 50 周年記念式典開催（椿山荘にて 629 名出席） 	<ul style="list-style-type: none"> • 中学・高等学校同窓会ホームページ開設
2003(平成 15 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> • 創立 100 周年記念事業募金開始 目標額 15 億円 期間 H15.4.1-H20.3.31 	
7 月	<ul style="list-style-type: none"> • 21 世紀 COE プログラムが文部科学省より採択される • 学園理事長に加藤康太郎氏就任 	<ul style="list-style-type: none"> • 小長谷会長から石崎会長にバトンタッチ
2004(平成 16 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> • 大学学長に原島文雄氏就任 • 短期大学廃校 	
5 月	<ul style="list-style-type: none"> • 秋葉原ダイビルに秋葉原ランチ開設 	
6 月	<ul style="list-style-type: none"> • 第 17 回卒業生招待会開催（高校カフェテリア） • 校友会理事長、岡田榮一氏退任 • 校友会理事長に石塚昌昭氏就任 • 大学学長に古田勝久氏就任 	
2005(平成 17 年) 2 月		<ul style="list-style-type: none"> • 数年ぶりに宿泊幹事会開催(伊豆高原荘)
2005(平成 17 年) 3 月		<ul style="list-style-type: none"> • 第 47 回定期総会開催(小金井キャンパス)
6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 第 48 回定期総会開催(小金井キャンパス) • 第 49 回定期総会開催(小金井キャンパス)
2006(平成 18 年) 6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 校外幹事会開催、箱根小涌谷「かながた箱根荘」
2007(平成 19 年) 6 月		<ul style="list-style-type: none"> • 第 50 回定期総会開催(神田キャンパス)
9 月	<ul style="list-style-type: none"> • 学園創立 100 周年記念式典「日本武道館」にて挙行(祝賀会「帝国ホテル」にて) 	
10 月	<ul style="list-style-type: none"> • 大学キャンパスを足立区北千住駅東口前に創設することを決定 	

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
2008(平成 20 年) 4 月		<ul style="list-style-type: none"> 第 51 回定期総会開催 (小金井キャンパス) 同窓会 50 周年記念式典、祝賀会 (高校創立 70 周年、PTA60 周年、後援会 30 周年合同開催)
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 中学校・高等学校校長に向芝京太氏就任 	
2009(平成 21 年) 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 高校創立 70 周年記念式典、祝賀会 (同窓会 50 周年、PTA60 周年、後援会 30 周年合同開催) 	
6 月		<ul style="list-style-type: none"> 第 52 回定期総会開催 (神田キャンパス 最後) 武蔵野祭で第 1 回「だんわ室」開設 校外幹事会開催、箱根小涌谷「かながた箱根荘」
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 校友会創立 100 周年記念式典、祝賀会「グランドパレス」にて挙行 	
2010(平成 22 年) 6 月		<ul style="list-style-type: none"> 第 53 回定期総会開催 (東京千住キャンパス初) 会長に渡辺幸久氏就任 小金井キャンパスに第 2 回「だんわ室」開設
9 月		
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災 (巨大津波・原発事故) 校友会理事長に渡辺貞綱氏就任 	
2011(平成 23 年) 3 月	<ul style="list-style-type: none"> 大学・校友会「東京千住キャンパス」へ移転 	
6 月		
2012(平成 24 年) 4 月		
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 校友会が一般社団法人に移行 	
9 月		
2013(平成 25 年) 4 月		
2013(平成 25 年) 6 月	<ul style="list-style-type: none"> 「富士山」世界遺産に登録 	<ul style="list-style-type: none"> 第 54 回定期総会開催 (東京千住キャンパス) 校外幹事会開催 (伊豆高原)
10 月		
2014(平成 26 年) 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ソチ冬季オリンピック開催 	
4 月	<ul style="list-style-type: none"> 消費税 5%→8%に 	<ul style="list-style-type: none"> 第 55 回定期総会開催 (東京千住キャンパス) 校外研修会開催 (日光川治温泉)
5 月		
10 月		
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ノーベル賞日本人 3 人受賞 (青色発光ダイオード) 	

年 月	学 園 ・ 時 事	同 窓 会
2015(平成 27 年) 3 月	・北陸新幹線「金沢」開通	
4 月	・中学校・高等学校長に大久保靖氏就任	<ul style="list-style-type: none"> ・第 56 回定期総会開催（小金井キャンパス） ・校外幹事会開催（箱根強羅温泉）
5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・第 57 回定期総会開催（小金井キャンパス） ・渡辺幸久会長から川村登志一会長へバトタッチ
12 月	バラク・オバマ大統領の広島訪問。	
2016(平成 28 年) 5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・小金井キャンパスに第 3 回「だんわ室」開設 ・クラス委員・教職員・幹事との懇談会
9 月	オートファジーの仕組みの解明で、大隅良典がノーベル生理学・医学賞受賞。	第 58 回定期総会開催（小金井キャンパス）
10 月	アメリカ大統領選でドナルド・トランプが勝利。	<ul style="list-style-type: none"> ・オルセースクールミュージアム支援 ・小金井キャンパスに第 4 回「だんわ室」開設
11 月		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス委員・教職員・幹事との懇談会 ・第 24 回卒業生招待会
2017(平成 29 年) 5 月		<ul style="list-style-type: none"> ・校外宿泊幹事会（伊香保温泉） 第 59 回定期総会開催（小金井キャンパス）
8 月		
9 月		
11 月		
2018(平成 30 年) 5 月	・長野県北部を震源とする M5.2・最大震度 5 強地震発生	・小金井キャンパスに第 5 回「だんわ室」開設
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府北部を震源とする M6.1・最大震度 6 弱（大阪市北区など）の地震発生 ・長崎県・熊本県「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録 ・台風 21 号（※約 25 年ぶりに非常に強い勢力で上陸） 	
9 月	・北海道胆振東部地震（北海道初の震度 7）地震発生	

東京電機大学中学・高等学校同窓会会則

第1章 名称および事務所所在地

(名称)

第1条 本会は、東京電機大学中学・高等学校同窓会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、本部を東京都足立区千住旭町5番一般社団法人東京電機大学校友会内に置く(以下校友会)という。

2 本会は、本部のほかに東京都小金井市梶野町四丁目8番1号東京電機大学中学校・高等学校内に事務所を置く。

第2章 目的

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて会員と母校との連繫を密にして、母校の発展に寄与することを以て目的とする。

第3章 会員

(構成員)

第4条 本会の会員は、正会員、在学会員および特別会員よりなる。

(1) 正会員は、東京電機大学中学校、東京電機大学高等学校、東京電機工業学校、電機第一工業学校、同併設中学校、電機第二工業学校、同併設中学校および電機学園高等学校の卒業生とする。

(2) 在学会員は、東京電機大学中学校および東京電機大学高等学校の在校生とする。

(3) 特別会員は、東京電機大学中学校・高等学校の教職員および本会に特に功労のあった者で、幹事会で承認された者とする。

(議決権等)

第5条 正会員は、東京電機大学中学・高等学校同窓会総会(以下「総会」という。)の構成員となり、1個の議決権、選挙権および被選挙権を有する。

2 名誉会長、顧問、特別会員および在学会員は、議決権、選挙権および被選挙権を有しない。

第4章 役員等

(役員等の構成)

第6条 本会に次の役員等を置く。

(1) 役員として会長1名、副会長若干名、会計2名、会計監査2名を置く。

(2) 幹事として50名以内を置く。ただし、第1号の役員(会長、副会長、会計)は幹事を兼務するものとする。

(3) 名誉会長1名を置く。

(4) 顧問および参与若干名を置く。

(5) クラス委員は、当該クラスより選出され、

各クラス3名まで置くことができる。

(役員等の選任)

第7条 会長、副会長、会計は、総会において幹事の中から選出する。

2 名誉会長には、東京電機大学中学校・高等学校学校長を推戴する。

3 会計監査は、幹事以外から総会において選出する。

4 顧問は、名誉会長の経験者で、会長が推薦し、幹事会の承認を得るものとする。

5 参与は、原則として会長(旧会則による幹事長)および会長に準ずる経験者で幹事会の承認を得るものとする。

6 幹事は、会長が会員より推薦を受け、幹事会の承認を得た時点で任命・就任するものとする。

(役員等の職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総括し、役員会および幹事会の議長となる。

2 副会長は、会長の任務を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の任務を代行する。

3 会計は、本会の会計を担当する。ただし、本会の会計は校友会の会計の一部を構成するため、校友会事務局と連携して担当するものとする。

4 会計監査は、本会の会計を監査し、幹事会に出席し意見を述べることができる。

5 総務は、総務担当および庶務担当に依り成り、本会の総務全般を担当する。

6 幹事は、会務を分担し、本会の運営にあたる。

7 クラス委員は、クラス会を開催し、本会との連絡を緊密にし、本会の発展を図る。

8 名誉会長、顧問および参与は、本会の求めに応じて意見を述べるすることができる。

(役員等の任期)

第9条 役員等の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 会長は、総会で新たな会長が選出されたとき、幹事の任期が残存している場合でも、幹事の任期満了とみなされ幹事を退任する。

3 役員に欠員を生じ会務に支障のあるときは、第7条の規定に従い、必要に応じて、これを補充することができる。ただし、その任期は、前任者の残任期間とする。

4 幹事の任期は、2年とし、再任を妨げない。

5 幹事は、第7条の規定に従い必要に応じて、これを補充することができる。ただし、その任期は、新任時のみ当該年度と翌1年間とする。

第5章 会議

(会議の種類)

第10条 会議は、総会、役員会および幹事会とする。

(総会)

第11条 定時総会は、毎年1回会長がこれを招集する。

- 2 総会の議長は出席者より選出する。
- 3 次の事項についての決議および報告を行う。

- (1) 役員を選出
- (2) 事業報告および決算の承認、会計監査の報告
- (3) 事業計画および予算の承認
- (4) 幹事会で承認された幹事氏名の報告

- 2 総会で決議され報告された事項については、第7条第1項ただし書きによる承認のほかは、校友会理事会に遅滞なく報告するものとする。

(役員会)

第12条 役員会は、役員により構成し、会長が召集し、会務を審議決定する。

(幹事会)

第13条 幹事会は、役員、幹事により構成し、必要に応じて会長が招集し、会務を審議決定する。

- 2 会員より推薦された幹事の承認を行う。

(決議)

第14条 総会、役員会および幹事会は、出席人数を以って成立し、その決議は、出席人数の過半数をもって行う。ただし、会則の改正についての決議は、出席人数の3分の2以上の多数をもって行う。

第6章 委員会

(委員会)

第15条 会長は、業務遂行上必要であると判断した場合、幹事会の承認により、委員会を設けることができる。

- 2 委員会の委員は、会長が選任し、幹事会の承認を得るものとする。
- 3 当該委員会を開催した都度、会長にその結果を報告するものとする。

第7章 会計

(経費)

第16条 本会の活動費用に充てるための経費は、校友会から交付された資金をもって充当する。

- 2 諸会合に要する経費は、その実費を会員から徴収することができる。

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

第8章 会則の改正および委任

(改正)

第18条 この会則の改正は、総会の決議を経て行う。

(委任)

第19条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は幹事会の承認により、会長が別に定めるものとする。

附 則

- 1 本会則は、昭和35年4月17日より施行する。
- 2 昭和46年5月15日 第6条第4項一部改正
昭和47年6月27日 第6条第1項一部改正
昭和50年6月7日 第13条第1項一部改正
昭和56年6月27日 全面改正
昭和57年6月26日 第13条第1項一部改正
昭和60年6月22日 一部改正
平成4年6月20日 一部改正
平成9年6月21日 一部改正
平成14年6月15日 第6条第三号一部改正
平成16年5月15日 全面改正
平成17年5月14日 第8条第3項削除、第11条の変更、他一部変更
平成20年5月10日 一部改正（第7条名誉会員を会長に、第10条会計監査追記、他）
平成22年5月15日 全面改正（幹事を幹事会で承認出来るよう会則の改定を行い、更に細則の多くを本会則第7条に取入れた。また、会長は、新会長が選出された時点で、幹事を降りなければならないが、副会長・会計は、各新役員が選出されても幹事を継続する）
平成25年4月1日 全面改正（一般社団法人東京電機大学校友会の設立の登記の日から施行）
平成25年4月27日 会計2名に訂正および会計監査（2名）の追加
平成26年5月17日 役員の詳細化、総会議案についての決議および報告の詳細化
平成30年5月19日 名称の誤記を修正

編集後記

東京電機大学中学校・高等学校同窓会 参与 石崎泰司（記）

「朋友」初期からの編集者串橋さんを偲んで、および 同窓会役員野口さん、武藤さんを偲んで

「高等学校創立 40 周年記念号」「回想」を昭和 55 年（1980 年）6 月 30 日発行するにあたり、現参与の柴山さんと私が編集担当となり、企画は進められても、本の体裁をはじめ編集方法が素人のため、出版を依頼する予定の出版局にお願いしたが、殆ど編集会議に出席いただけず、丁度私の高校同級生の友人（串橋幸保君）が出版会社を始めたことから、毎回編集会議に出席いただき、製本・印刷から発送まで費用も格安で引き受けてくれることとなり、我々の企画通りの記念誌が完成された。これを機会に串橋さんにも同窓会幹事となって貰い同窓会の活動に参加してもらおうこととなる。

それから 5 年経ち、同窓会 25 周年記念号を発行することとなり、これを機に今後同窓会誌として、会員の皆さんへ同窓会の活動状況・母校の情報そして校友会との繋がりを説明していこうと決定し、第 2 代同窓会長（当時は幹事長）鷲見篤氏に会誌名を「朋友」と命名いただき、後日幹事会で決定された。

編集は、当初から柴山参与と私を中心となり、串橋幹事が編集委員に加わり、更にその後編集幹事も増え、串橋幹事を中心に内容の充実を図りながら、編集から印刷・製本そして発送まですべてを、今日までお願いしてまいりました。

「朋友」として最後の冊子形式となる本号の編集打ち合わせ中でしたが、急に入院する事となり、今年 10 月帰らぬ人となってしまいました。さぞ残念なことと思います。長期間に渡り同窓会誌「朋友」の作成本当にご苦勞様でした。

「朋友」とは別に、私が同窓会会長を仰せつかっていた当時、同窓会の幹事になってご活躍をしていただきたく、PTA 会長経験者で我々の高等学校を卒業されている方が数名いらっしゃることをお聞きし、皆様を紹介いただき、幹事になって欲しい旨直接お願いし、お忙しい中承諾いただき、現在も皆さん活躍頂いておりますが、その中の野口さんが、茨城から毎回幹事会に出席いただき、副会長となってご活躍頂いておりましたが、昨年入院され今年の 10 月帰らぬ人となってしまいました。

また武藤さんが、クラス委員教職員懇談会にご出席の折、私から同窓会幹事をお願いし、遠く茨城からでしたが、幹事会にご出席いただき、現在は役員として監査をお引き受けいただき活躍していただいておりますが、今年 11 月帰らぬ人となりました。「亡くなる前、本人から幹事会に出席するのを楽しみにしていました」とご家族の言葉をお聞きし、また皆様に宜しくとのことでした。

今年になって 3 名の物故者が出たことは同窓会にとって大変残念なことですが幹事一同、心からご冥福をお祈り申し上げます。

編集委員一同

2019 年 3 月 5 日 発行 （非売品）

発行責任者 川 村 登 志 一
（編集兼発行所）

東京電機大学中学・高等学校同窓会
住所：東京都足立区千住旭町 5 番
東京電機大学校友会
電話：03-5284-5140

東京電機大学中学・高等学校同窓会
住所：東京都小金井市梶野町 4-8-1
電話：0422-37-6441

学園創設者胸像



扇本先生



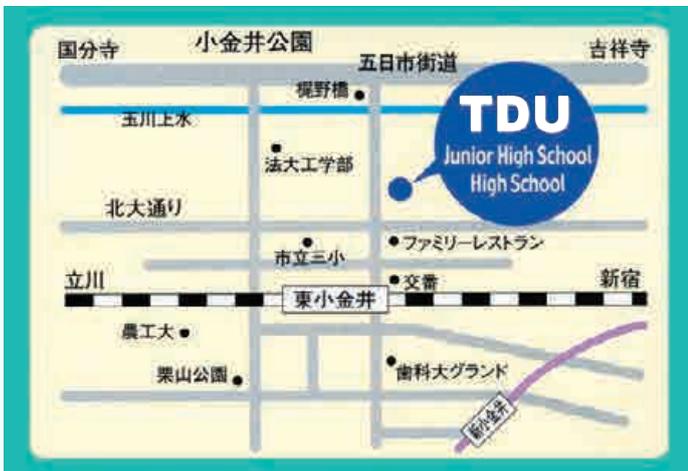
廣田先生

学園創立 60 周年記念「若者の像」



「若者の像」は、河部先生のレリーフをもとに、同窓会・学園・生徒会により制作されたもので、現在、小金井キャンパスのグラウンドに設置されている。

<中学校・高等学校案内図>



<校友会案内図>



東京電機大学中学・高等学校同窓会 〒184-8555 東京都小金井市梶野町 4-8-1 tel : 0422(37)6441(代)

●ホームページ <http://www.tdu-chukodoso.com>

東京電機大学校友会 〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番 東京電機大学1号館2階 tel : 03(5284)5140

●ホームページ <http://www.tduaa.or.jp>